



将来を考える！

修学旅行編
Part1

3年生が、4月24日(月)から26日(水)までの3日間、関西方面へ修学旅行に行ってきました。事前指導で『この3日間に、将来(進路、職業、学校生活など)を考える時間も持って欲しい』という話をしました。進路を考える上で、世の中にはどんな仕事があるのかを知るといことも大切なことかと思えます。3年生が修学旅行を通してどのようなことを学び、どう成長できたのかとても楽しみです。

1日目は福島空港に集合し、旅がスタートしました。福島空港では、搭乗手続や荷物の受け入れなどをしてくれた**グランドスタッフ**。飛行機を誘導したり荷物を飛行機まで運んでくれた**グランドハンドリング**。飛行機を操縦する**パイロット**。飛行中にみなさんの快適な旅をサポートしてくれた**客室乗務員(CA)**など多くの職業を目にすることができました。

伊丹空港から奈良方面へと旅は続きました。目的地まで安全な運転をしてくれた**バスの運転手**。歴史や仏像などたくさんのお話を教えてくれた**バスガイド**。観光地を丁寧に案内してくれた**観光ガイド**。お店の**店員**やお昼を作ってくれた**料理人**、トイレを掃除してくれた**清掃員**。他にもいろいろな職業にあふれていました。どの職業も無くてはならないものだったと思います。

薬師寺のお坊さんによる軽快でおもしろい法話では、『礼は身を正し、相手の顔を見て行うこと』『大人も必死になって生きていること』『話をする人も大切だが、話を聞く人の方がもっと大切であること』など生きる上で大切なことが語られました。そして最後に、

『人は興味がない、つまらないと下を見る(顔=面を下に倒す)。自分には関係ないと面倒がる。それでは良いことは起きずに、悪い方に行くばかり。人は、明るい顔で生活していきたいもの。日本では明るいを昔から白いと表現してきた。(確かに枕草子にも「やうやう白くなりゆく山ぎわ」とあるなあ~+) 興味が持てることを自分で見つける。そして、面白く(顔を明るく)生きて欲しい。しんどいときほど下を向かず、顔を上げる。世の中のことは、自分次第でどうにでもなる。良きも悪きも全て自分が決めてること。みんな頑張ってるね。』



多くの生徒の心に残る言葉となったと思います。

2日目は、京都自主研修を行いました。自分たちが向かう見学地に思うように到着できずに、計画通りに進めることの難しさや集合場所である大阪城公園にやっとのおもいで到着できた達成感を味わうことができました。観劇の『オペラ座の怪人』では、怪人が自分の思いを捨て、愛する人の幸せを願う姿に涙し、演者やそれらを支えるスタッフの本気の一体感に感動しました。観劇後の感激に満ちた生徒達の顔はとても輝いていました。

3日目は、USJを満喫しました。遊びの中から、楽しみのために待つことがあること、何かを手に入れるために諦めなくてはいけないものがあること、限りあるお金を上手に使うこと、効率よく進めるために必要なことなどを知らず知らずのうちに学んでいたはずで。

3年生はこの3日間で、生きるために必要なことをたくさん学びました。きっと、生活の周りには、多くの学びがあるはずで。1・2年生も学習旅行や国内研修が待っています。玉中生みんな、面白く生きるために、顔を明るく周りに目を向けてみましょう。

次号では、この3日間で生徒が感じたことを掲載します。お楽しみに。